

報告書名：行政歯科専門職を対象としたインターネットによる双方向情報システムの構築が公衆衛生に及ぼす影響（2）

研究者名：飯嶋 理¹⁾、石上和男²⁾、中村宗達³⁾、安藤雄一⁴⁾

所 属：¹⁾静岡県歯科医師会、²⁾新潟県福祉保健部健康対策課、³⁾静岡県東部健康福祉センター、⁴⁾国立保健医療科学院

【緒言】わが国におけるフロリデーションや集団で行うフッ化物洗口法等の公衆衛生施策の展開は、甚だ低調な現状にある。この原因のひとつとして、公衆衛生の担い手である行政に問題があると考えられる。日本の歯科分野における公衆衛生を推進するためには、まず行政に勤務する歯科医師、歯科衛生士（以下行政歯科技術職）の仕事の質を向上させ活性化させることが重要な課題である。このとき、今日の情報化社会にあつては、インターネット等の活用は、効率的にこの目的を果たすための有力な手段と言える。以上の考えに基づき、私達は、行政歯科技術職のレベルアップを目的として、インターネットによる双方向の情報提供・交換システムを構築するための行政歯科技術職の全国連絡組織を発足させ、会員募集を行うこととした。

【経過】<平成 13 年度>・行政歯科技術職調査(結果/行政歯科技術職は歯科分野の公衆衛生施策に引け腰) <平成 14 年度>・行政歯科技術職の研修成果に関する調査(結果/行政歯科技術職の研修により歯科分野の公衆衛生施策への取組み意欲等が大きく向上) <平成 15 年度>・行政歯科技術職 IT 環境調査(結果/行政歯科技術職の職場環境はインターネット等がかなり利用できる現状) ・インターネット利用による行政歯科技術職の全国連絡組織発足の準備

【平成 16 年度事業・結果】

<組織づくり>・全国連絡組織役員の追加(平成 15 年度では組織役員の構成を歯科医師のみとしていたが、歯科衛生士を加えた) ・メーリングリスト(以下 ML)アドバイザーの依頼 ・会員募集用パンフレットの作成 ・会報発行準備 ・国立保健医療科学院口腔保健部に事務局開設

<再編組織の概要> 名称 全国行政歯科技術職連絡会(略称：行歯会)

内容 ・インターネット等による情報交換、会員の交信、行政資料等の紹介、大学等専門家の助言(ML の活用) ・公衆衛生情報の提供(会報等の発行:これも ML を活用)

役員 会長(1)：石上和男(新潟県) 副会長(3)：北原稔(神奈川県) 井下英二(滋賀県) 楠田美佳(熊本県)
事務担当理事(5)：中村宗達(静岡県) 山田善裕(江東区) 大西宏昭(大阪府) 長優子(江戸川区)、永瀬吉彦(新潟県) ブロック理事(19)：[北海道]佐々木健、山下真知子 [東北・甲信越・北陸]石上和男、高橋明子 [関東]鳥山佳則、高澤みどり [関東]北原稔、堀正子 [東京]矢澤正人、長優子、広瀬友美 [東海]中村宗達、金森いづみ [近畿]井下英二、得津康子 [中国・四国]梶浦靖二、藤田幸子 [九州・沖縄]岩瀬達雄、楠田美佳

会費 無料

【今後の展望】会の核となる執行部を、平成 15 年度に準備したものに歯科衛生士を追加する等で再構成し、入会勧誘用パンフレットを作成した。今後はいかに多くの会員を集められるかが次の課題である。ブロック理事の地域における呼びかけが大きな力になるものと期待している。また、会報内容の充実等により、会員の歯科分野の公衆衛生施策の理解を深め日常業務に反映させることで、わが国における公衆衛生推進の一助としたい。